

2021年度 第2回 安全・技術委員会 議事録

日時、場所

2021年11月8日(月) 18:00~19:20 たかつガーデン 藤

出席者

担当副会長 : 西村 哲也 (株ニシムラ)
委員長 : 朝田 武志 (朝田金属工業株)
副委員長 : 上田 整弘 (上田産業株)
委員 : 朝田 善雅 (朝田金属工業株)、加藤 大典 (大阪美錠工業株)
鈴木 猛 (株アマダプレスシステム)、田中 康治 (株ハヤシ)、
二原 浩憲 (プレテック株)、松井 渉 (佐々木工業株)
特別参加 : 中山 康広様 他2名 (株大塚商会 計3名)
事務局 : 中西 順也 (文責)

議事内容

1. DXへの取り組みについて

(株大塚商会様に、DXについての取り組み、ご提案などのご説明をして頂きました。

(内容抜粋)

- ・効率化で販管費を下げるのではなく業務改善で売上、利益を上げるべき
- ・従業員からのボトムアップではなく、経営者からのトップダウン
(“従業員の課題≠経営の課題” ではない)
- ・現場が楽になるシステムではなく、現場に負荷をかけるシステムが必要
- ・導入例、(株)水登社 現場はIpadへの入力に猛反発したが、社長が断行
結果、納期が1/3(リードタイム14日→5日)生産量3倍で売上アップ
- ・DX導入へ4つのステップ(現状分析、経営ワークショップ、業務改善、DXツール導入)

(説明を終えての質疑、意見、感想)

- ・中小企業診断士に現状分析して頂いたら各会社に合ったDXが提案できるのでは
- ・利益率を絶えず年頭に置かないとどんな計画も立てられない。システム導入は何度も経験しているが、システム導入で利益率を上げられるとは思えない。
→ITが経営に役立つと思ってない経営者は多いですが、(株)水登社の例は事実です。
原価管理を導入した企業では、標準より早く出来た従業員には賞与等で評価をし、
作業が遅い人が残業をして残業代を持って行くという不満を解消した。
- ・複数が同じ作業をするわけではなく作業内容も仕事の単価も違うので比較は難しい。

(今後の進め方について)

(株)大塚商会様のご説明は、DX導入の方法について大変良い内容であったと思います。

会員に向けても、この内容でセミナーをして頂くという案はどうか

- ・大変良いと思います。導入事例は1例ではなく3例くらいお聞きしたい。
- ・単に現場のデジタル化ではなく、経営に関わってくるところが良いと思います。
- ・導入先を見学させて頂ける企業はないでしょうか。
→(株)大塚商会ではパートナー制をしており、紹介や見学は可能ですが、ただコロナ禍で見学はまだ時期的に難しいかも。(見学はオンラインも検討)
- ・まずは会員向けにセミナーを企画しましょう。
→大塚商会では毎月オンラインセミナーを実施しています。

今回と同じ内容の1時間バージョンも11/18にありますので、案内を追ってお送りいたしますのでご参加下さい。

<榊大塚商会様のご退席後>

会員向けセミナーを開催する時期としていつ頃がよいか、年明けが良いでしょうか。

- 1/24（月）賀詞交歓会の講演会の枠がまだ空いておりますが、そこに入れて頂く案はどうでしょうか（事務局）

→ 総務・経営委員会のメンバーに相談、又は協議会で提案してみます（委員長）

2. 金属プレス加工技術展 2022 in 大阪について

『大阪金属プレス工業会』としてブースを出展し、個別に出展をしない会員に、お試し出展して頂くという案です。

（先日の理事会にて林副会長から提案があり、進めることに決まりました。）

- 出展申し込み期限は 1/15 です。出展したが展示する企業が無かったということもあり得ますので、まず意向調査の必要があるのでは（事務局）

→ 次回委員会までに林副会長と相談しておきます（委員長）

3. 次回の委員会の予定

12月13日の週 12/13（月）～17（金）を候補として「調整さん」で決めます。

以 上